

SROIを活用したスポーツ鬼ごっこ活動の社会的インパクト評価の試行

(ふじみ野スポーツ鬼ごっこ愛好会/株式会社福山コンサルタント) 金子 俊之

The evaluation of social value using "Social Return on Investment" method, case study of Sports Onigokko circle management.

Fujimino Sports Onigokko circle / Fukuyama Consultants Co.,Ltd KANEKO, toshiyuki

社会的価値評価・SROI・スポーツ鬼ごっこ

著者略歴：ふじみ野スポーツ鬼ごっこ愛好会所属/埼玉県スポーツ鬼ごっこ連盟理事。2000年(株)福山コンサルタント入社。官公庁発注の都市計画・道路交通分野のコンサルタント業務を年間10件以上担当。技術士(総合技術監理部門、建設部門:都市及び地方計画、道路)/1級土木技術者(交通)/鬼ごっこ協会公認2級指導者・審判員。

■研究背景

- 近年、欧米では、社会的企業や団体が行う非営利的活動の投資可能性を測る手法としてSROI(Social Return on Investment:社会的投資収益率)への注目が高まっている。SROIとは、財務的評価のみでは測れない活動の社会的価値(社会的インパクト)について、コミュニケーションを通じて定量的に評価する手法であり、日本においても徐々に認知度が高まってきている状況である。
- 本研究では、ふじみ野スポーツ鬼ごっこ愛好会の活動をケーススタディとして、SROI手法を活用したスポーツ鬼ごっこ愛好会活動の社会的価値評価の試行を行った。

■課題設定

- 従来の遊びの鬼ごっこに戦術や戦略を要するルールを加えた「スポーツ鬼ごっこ」(鬼ごっこ協会)は、幅広い世代が運動能力に関係なく誰でも気軽に参加できる楽しみと競技性の高さが両立しており、その魅力から全国各地で愛好会が設立されたり、総合型地域スポーツクラブで積極的に導入されたりするなど爆発的な広がりを見せている。
- スポーツ鬼ごっこ愛好会の活動を、時間・労力・資金などの諸問題をクリアしながら、長期的に持続させるためには、参加者だけが楽しむ地域コミュニティの1つに留めず、活動の実施による多面的な効果を示していくことで、社会的価値を創出する団体として、地域社会の人々に受け入れられることが必要となると考えられる。[1]

■研究方法

- SROI手法は、どのような資源を投入することにより(インプット)、どのような結果が生まれ(アウトプット)、最終的にどのような社会成果(アウトカム)につながるか、ロジックモデルの枠組みで事業の社会インパクトを分析するものである。直接的な費用に加えて、ボランティアや無形資産の投入等もコストとして定量化し、それによって達成された成果をアウトカムとして定量評価することで、貨幣換算化されたインプットに対するアウトカムの比率をSROI値(社会投資収益率)として求める。[2]
- 本研究では、SROI手法の考え方を基本として、簡便的な評価手法で社会的価値の算出を試行した。[3]
- 2015年に設立された「ふじみ野スポーツ鬼ごっこ愛好会(代表:三澤慎吾氏)」のこれまでの活動をケーススタディとして、愛好会メンバーの協力を受け、必要な実態調査を実施した。

■分析・考察

- ・SROI手法に基づき、スポーツ鬼ごっこ活動の資源と社会的価値の貨幣換算化を行った。

◆事業に投入される資源(ヒト・モノ・カネ) (分母の内訳)

関係者	投入資源(インプット)	内訳	投入資源の金額(円/年)
スポーツ鬼ごっこ愛好会	維持管理費(備品・消耗品等)		7,000
	体育館使用料	団体登録により無料	0
	参加者保険代	都度実費精算(200円/回)	-
	大会参加費ユニフォーム代	都度実費精算	-
	ライセンス更新料	2級7,000円×1名 3級2,000円×3名	13,000
	人件費(体育館抽選参加)	1,000円/回×12回	12,000
	人件費(講師料)	5,000円/回×2名×24回	240,000

計 272,000

◆スポーツ鬼ごっこ愛好会活動のSROI(社会的投資収益率)

事業が生み出す社会的価値(単位:円)	
SROI =	事業に投入される資源(ヒト・モノ・カネ) (単位:円)
	686,612円 (事業の成果を貨幣換算)
=	272,000円 (事業の維持管理費、人件費等)
=	2.52 (投資1に対する社会的価値の割合)

◆事業が生み出す社会的価値 (分子の内訳)

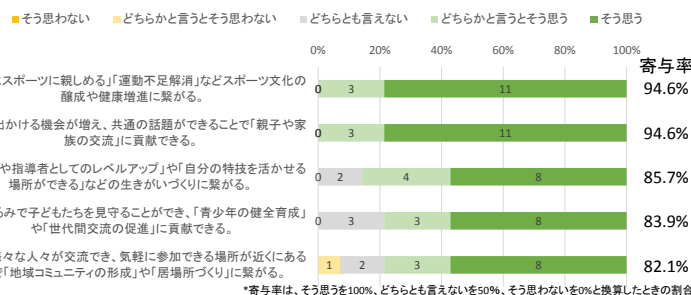
関係者	活動内容(アウトプット)	生じた変化(アウトカム)	変化が生じた人数	貨幣換算の方法	寄与率	生じた変化の社会的価値(円)	
参加者		気軽にスポーツに親しめる	15	平均支払意思額1,200円/月×12ヶ月	94.6%	204,336	
		競技者としてのレベルアップ					
		運動不足解消などの健康増進	15	1回あたり歩数4,200歩×貨幣換算係数0.061円/歩×24回	94.6%	87,251	
指導者	体験会の開催回数 月2回以上(年間24回)、平均15人程度参加	指導者としてのレベルアップ	4	シルバー人材センター年間登録費2,400円相当	85.7%	8,227	
		自分の特技を活かせる場所ができるなどの生きがい					
保護者		親子や家族の交流	15	カフェ代500円相当×24回	94.6%	170,280	
		青少年の健全育成	15	放課後児童クラブ1日あたり500円相当×24回	83.9%	151,020	
自治体		世代間交流の促進	1	市民活動支援補助金年間30,000円相当	82.1%	24,630	
		地域コミュニティの形成、居場所づくりなどの地域の活性化	1	市営体育館使用料1,800円×24回	94.6%	40,887	
		スポーツ施設の有効活用					
国	活動支援、大会後援	スポーツ文化の醸成	-	今回は計測しない(スポーツ実施率等)	-	-	
鬼ごっこ協会	鬼ごっこ関連各種事業の推進、愛好会認定	スポーツ鬼ごっこの認知度向上	-	今回は計測しない(体験者数、導入団体数、大会参加者数等)	-	-	
		公認ライセンス保持者の増加	-	今回は計測しない(ライセンス取得者数×登録費等)	-	-	

*ふじみ野スポーツ鬼ごっこ愛好会アンケート調査結果より

計 686,612

スポーツ鬼ごっこ愛好会活動によって期待できる効果

(N=14)



*寄与率は、そう思うを100%、どちらとも言えないを50%、そう思わないを0%と換算したときの割合

- ・この結果、事業に投入される資源(インプット)272,000円に対し、事業が生み出す社会的価値(アウトカム)686,612円となり、投資に対し2.52倍の価値を有することを確認した。

■まとめと課題

- ・本研究では、既往のSROI評価事例をもとに、簡便的な手法でスポーツ鬼ごっこ活動の社会的価値評価の算出を試みた。
- ・SROIは、国内における適用事例が少なく、評価実績を積み重ねていくべき段階であるが、手法の特徴を踏まえてコミュニケーションを通じて評価を行い、可能な限り定量的となるように貨幣換算化を行った。
- ・例えば、各種調査を実施することで、スポーツ鬼ごっこ愛好会活動によって期待される効果の項目とその割合、活動への支払意思額等を明らかにした。
- ・ただし、SROI手法の適用における評価体系や測定指標、貨幣換算の原単位については、国内での研究動向や事例を踏まえ、今後さらに精度を高めていく必要がある。
- ・SROIはスポーツ鬼ごっこ活動の社会的価値評価手法としての活用だけでなく、将来に実施する事業や活動の目標や評価の枠組みを設定するためのツールとしても活用でき、効果的な事業計画づくりや組織運営に貢献するものと考えられる。

■謝辞

- ・本研究全般にわたり多大なるご協力とご意見を頂いた三澤慎吾氏ならびに各種調査にご協力頂いたふじみ野スポーツ鬼ごっこ愛好会のメンバーに感謝の意を表します。

■引用・参考文献

- [1]PwC あらた有限責任監査法人, 2017. 3, 社会的インパクト評価の普及促進に係る調査最終報告書
- [2]伊藤健(慶應義塾大学SFC研究所), 2014. 3, 「SROI」実施ガイドライン
- [3](一社)建設コンサルタント協会参加型計画専門委員会, 2017. 9, SROIの参加型計画への適用と課題 中間報告